

2023年10月26日

株式会社 TMJ

# TMJ、障害がある方の就労を支える Web サービス「poshulou（ポシュロウ）」を提供開始

多種多様、豊富な動画やサポート機能で、働くことに障害のある方へ選択肢とアイデアを提供  
第1弾コンテンツを2023年10月17日より無料公開

コンタクトセンター・バックオフィス（事務処理センター）の構築・運営を行うセコムグループの株式会社 TMJ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：丸山 英毅、以下 TMJ）は、働くことに障害のある方の就労を支える Web サービス「poshulou（以下、ポシュロウ）」を2023年10月17日より提供を開始しました。提供開始にあたり、動画コンテンツ約100本を無料公開し、「自分らしく働く・働き続ける」ための選択肢とアイデアを広く提供していきます。



働くに自分らしい  
選択肢とアイデアを

ポシュロウは、学習と情報収集のちょうどあいだ。

働く障害のある人に向けた、  
自分らしく働くための「選択肢とアイデア」を見つける  
WEBサービスです。



サイト URL : <https://poshulou.com/>

## ■ ポシュロウの概要

ポシュロウは働くことに障害がある方が、就労にあたり新たな選択肢とアイデアを得るために必要なメニューを備えた「学習と情報収集のちょうどあいだ」を目指した Web サービスです。

動画、ログ機能、の大きく2つの機能で構成され、障害を持つ当事者向けコンテンツを中心に、将来的には動画の強みを活かした求人情報やオンラインでのサポート機能、企業向けコンテンツなどの拡充もしていきます。



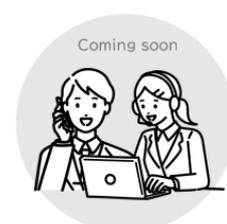
新たな「選択肢とアイデア」  
を見つける動画



「自分らしく働く」を  
アシストするログ機能



「リアル」を届ける  
求人情報



「気軽」に相談できる  
オンラインサポート

## ● 自分らしく働くための「動画コンテンツ」

ポシュロウのメインサービスとなる動画コンテンツは、職業訓練を目的とした技術習得の内容とは趣旨が異なります。障害がある方々に向けた「心と身体のセルフケア」「働くための考え方や自己理解のヒント」「就職活動に向けた情報」「受け入れ側の企業に関する情報」など、働くにあたり自身が障害とうまく付き合うための知識や、相互理解を深めるための情報を中心に、コンテンツをラインナップしています。短時間で視聴できるよう要点をまとめた動画を多数用意し、10月のサービスローンチの段階では約100本の動画を無料でご視聴いただける予定です。

働くことに障害のある方と障害者雇用を行う企業へ「働く・働き続ける」ための様々な動画を発信

動画ジャンル	<b>当事者向け</b> 就労に関する情報 就職活動のアイデア セルフケアのアイデア 自己理解のアイデア 障害に関する情報 企業に関する情報	・ 働き方の選択肢、就活の全体像、社会資源に関する情報など ・ 面接、書類作成、企業研究に関する考え方など ・ 心や体のケア、考え方やコミュニケーションのアイデアなど ・ 自分らしく生きる、働くことについて考えるためのアイデアなど ・ 障害に関する概論や知識、当事者インタビューなどの情報 ・ 企業インタビューや求人に関する情報	<b>企業向け</b> 支援マインド 障害に関する考え方や知識 障害種別と特性 支援のポイントや環境作りの工夫 アプローチ方法/面談技法 社会資源
	動画の特徴	スマートフォンファースト	視覚的情報の充実

働く障害がある中で、自身の働き方の選択肢やアイデアに繋がる情報や知識を中心に作成。また絵や図などの視覚的な補助を充実させ、1動画を3分程度の短時間構成にすることで要点をわかりやすくつかめる設計に。

## ● 体調管理をアシストする「体調レコーディング機能」

サービス開発にあたり、障害がある当事者へのアンケートで、就労後のニーズとして多くの声があった体調管理ツール（通称：poshulog/ポシュログ）を搭載します。毎日のログインごとに「からだの調子」「こころの調子」「睡眠時間」などを記録して可視化することができ、俯瞰してご自身の体調をチェックできます。また、動画の視聴状況がわかるダッシュボード機能や、求人へのエントリー書類作成に使えるスキルチェック機能なども今後提供を予定しています。

poshulog(ポシュログ)

- 体調レコーディング機能

※以下、今後機能追加予定

- ダッシュボード機能
- スキル・ステータスチェック機能

## ■ポシュロウの開発背景

障害のある方が年々増加している状況に加え、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）への理解や法定雇用率の上昇などを背景に、障害がある方の就労ニーズは当事者・企業の双方で高まっています。

しかし、実態としては、多くの障害のある方が就労できていない、または職についたとしても40%近くの方が1年間継続できず退職をしているというデータもあり、就労支援に向けた社会資源が限られている現状があります。

就労を目指す人の多くは、様々な情報を集めながら「自力で就職活動」をするか、福祉サービスなどの「制度上のサービスで支援を受けながら就職を目指す」かの、大きく二つの選択肢に分かれる状況です。

「自力での就職活動」においては、“障害がある方向けに必要な情報が集約されたWEBサービスが少ない”、“収集が大変”、“求人などの情報が多い”などの声も聞かれます。福祉サービスなどの「制度上のサービス」では9割程度の方が無料で利用できる反面、手続きや利用期間に多くの時間を要し、その間は基本的に無収入となる経済的負担と、サービス利用の心理的ハードルがあるなど、二つの選択肢それぞれに課題が存在します。

また、企業側も障害者雇用における体制・態勢を十分に整えることができない状況もあり、課題感を抱えていることが調査データからも伺えます。

### 働く障害のある方を支援する社会資源の選択肢はまだまだ少ない



働く事に障害がある方が就職活動をする際の選択肢として、様々な情報を集めながら自力で就職活動をするか、あるいは福祉サービスなど、制度上のサービスを利用し、支援を受けながら就職を目指すか、大きく二つに分かれる。しかしながら、自力での就職活動においては、必要な情報がまとまったWEBサービスは少ないため、収集の大変さや、情報の偏りが起き、準備性が高めづらい。また制度上のサービスでは、利用そのものに心理的ハードルの高さを感じる方も多く、結果的に自力での就活になるケースも多い。

### 企業側も障害者雇用における態勢をまだまだ整えることができていない



法定雇用率2.3%の雇用義務のある企業の半数が未達成。また約31%の企業は障害者雇用が0名という状況。さらに1/3の企業が社内の態勢や業務の構築における課題感を抱えている。

※令和3年 障害者雇用状況の集計結果(厚生労働省)/障害者雇用の実態調査 2021(マンパワーグループ)

そのような社会課題を受け、ポシュロウは「学習と情報収集のちょうどあいだ」を目指し、障害がある方に特化したコンテンツと情報を提供し、「働く、働き続ける」のサポートに向けサービスを開発しました。当事者が欲しい情報やサポートを、無料から利用でき、経済状況やニーズに合わせてプランを選択できる Web サービスとして広くご利用いただけます。



## ■ 今後の展開

2023年10月より無料公開した動画コンテンツと体調レコーディング機能を皮切りに、以降はダッシュボード機能、企業向け動画、求人情報掲載、オンラインサポートなどを順次実装し、サービスの展開を検討していきます。なお、ポシュロウはTMJが2021年から行う社内新規事業コンテストから生まれた新ビジネス第1号の案件となります。市場調査や当事者への丁寧なヒアリングを経て開発を行い、この度サービスローンチの運びとなりました。TMJは社会課題の解決に向けた取り組み目指し、挑戦風土の醸成と新規事業の推進を力強く続けてまいります。

## ■ ポシュロウに込めた想い



### プロジェクトリーダー

**山本 直** YAMAMOTO NAOKI

#### ポシュロウ 企画発案

前職では発達が気になるお子さんやご家族の支援、働くことに障害のある方の就労支援など障害のある方の支援を幅広く経験。その後、人材開発領域において新入社員研修や採用の責任者として従事。現在は株式会社TMJでダイバーシティ&インクルージョン推進を中心とした企画やプロジェクトを担当。

ポシュロウの着想は私個人が就労移行支援や人材紹介サービスで支援をさせて頂いていた際に、制度や社会資源の狭間で支援を届けることができなかった原体験が大きなきっかけでした。そんなあの頃に出会った方々のお手伝いが少しでもできればと思い、多くの当事者の方や専門家の方、様々な役割、バックグラウンドを持つ方と対話を重ね開発してまいりました。

それでもやりたい事のまだ数%しかできておらず、もっともっと皆様と共に進化させていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

## ● ポシュロウのパーパス

purpose

一人でも多くの  
「自分らしく働く」を実現する。

誰かにとっての完璧は、誰かにとっての不完全。  
誰かにとっての心地良さは、誰かにとっての心地悪さであり、  
誰かにとっての正解は、誰かにとっての不正解だ。

「働く」においても、誰かの答えではなく、きっとあなただけの答えがあるはず。

でも、そんな自分の答えを見つけるのは簡単なことではない。  
きっと、とっても大変だ。

ともすれば大変なとき、困難なとき、  
しばしば人は抱え込んでしまったり、ひとりで頑張りすぎてしまう。

だからポシュロウは、  
抱え込まないように、頑張りすぎないように、  
ポケットに入るような身近さと手軽さで、  
その人らしい「働く」の答えと一緒に見つけます。

## ● ミッションとストーリー

Poshulouは社会に新たな選択肢とアイデアを届ける事で、働く障害を取り除きます



## ● サイトデザイン

ポケットに入れるような身近さと手軽さで毎日利用ができる機能とデザイン



サイトURL : <https://poshulou.com/>

サービス紹介ページ : <https://poshulou.com/lp>

## ● ユーザーテストの声

当事者の方より、使用感や視聴効果についてポジティブな感想をいただいています。



動画はカウンセリングをうけているのか？と思うくらい共感する内容でしたし、寄り添っていただいている感覚を受けました。

生活する中で自分が障害者であることを意識する場面はよくありますが、ポシュロウのデザインやサービス内容を見ていると、自分が障害者であることを忘れてしまいます。障害がなくても知りたい情報で、障害が無くてカッコいいと感じるデザインだと思えるからでしょうか。開発者の信念が、我々にしっかり伝わっています。



コールセンターで、モニタリングのお仕事をしていたので、声のスピードや声から伝わるニュアンスに敏感ですが、人間性があふれてくるような、人物像が浮かび上がってくるような声質のナレーションが素敵です。

最後に「まとめ」もきちんとあって、短い時間ですが、とても情報入ってきやすかったです。



動画の内容が、障害のある方以外、採用側の企業の方、一般の方にも役立つ動画構成のため「障害のある方」に限らず利用しやすいように思います。そして、「障害のある方」というくくりを超えてみんなが利用する事によって、相互理解を深め「障害者」と「そうでない人」という壁のない未来の実現ができるんじゃないか！と思える内容でした。

障害者向けの物は、機能重視でデザインが後回しの物になっていると感じる事が多いですが、やさしさを感じれる、とてもおしゃれで、細部までこだわって作られていると感じました。

## ■ ポシュロウの情報発信について

ポシュロウのサービスに関するマインド、機能、開発プロセスの秘話などについて SNS で発信しており、専門家の方々を中心に大きな反響を得ています。どんなサービスであるかと同時に、制作側と関わる方々の想いなどを、ポシュロウの世界観や魅力とともに届けていきます。



## ■ 株式会社 TMJ について (<https://www.tmj.jp/>)

TMJ は、株式会社福武書店（現・株式会社ベネッセコーポレーション）のインハウスコールセンターより独立分社化する形で 1992 年に設立。世界でも例のない継続型の会員制事業で培った生産管理、品質管理のノウハウを活かし、多種多様なクライアント企業のコールセンターの設計・運営から、調査・分析、人材派遣、人材育成などのサービスを提供しています。2017 年には、セコム株式会社の 100%子会社となり、より強固で安全性の高いグループネットワークを活かし、クライアントビジネスの成功をサポートします。

※障害者表記について

WEB サイトやアプリケーションで、視覚障害を持つ方がスクリーンリーダーを利用した際、「障がい者」という表記の場合、「さわりがいしゃ」と認識されるケースがあるため、TMJ では「障害がある方」または「障害者」という表記に統一をしています。